



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第95号 2020年1月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

霜柱やーい！氷やーい！



谷戸の木々には秋から葉っぱがなく、紅葉もどこへやら、楽しみの落ち葉かきも今冬は満足にできません。乾季のはずなのに、雨が多くて冬の気配がなく、谷戸の生きものの界はとまどっています。伝統の種蒔きとき、刈り入れときを、違えず引き継いでいきたいと、新年に当たって願うばかりです。

お知らせ& 谷戸往来

春の七草・どんと焼き 1/12(日)14:00~

場所：野外生活体験広場

山崎の伝統行事を引き継ぎました。(公財)鎌倉市公園協会と協働で開催します。



お碗とお箸を
ご持参下さい

秋の谷戸まつり報告

雨が続き開催が心配されましたが、当日は天候に恵まれ、谷戸の収穫物をたくさんの方に味わっていただきました。前日から雨に濡れながら準備をすすめ、当日も含めると100名近いボランティアの協力があったおかげです。

麦わら細工

小麦の収穫後に、大量に出る麦わらを有効活用し、麦わら細工を作っています。春・秋の谷戸まつりでは、光沢のある麦わらで作った花かご、カエル、左馬、しおりが人気です。



●謎の多い鎌倉のネズミ 今年の子年、ネズミは身近な動物の代表だったのに、近年は、見かける機会が少なくなっています。実際、鎌倉にどんなネズミがいるのか、よく分っていません。2003年に鎌倉市内の生きもの調査をした時に、最も困ったのがネズミの情報がないことでした。トラップを使った捕獲調査をしましたが、十分な情報が得られなかったようです。とくに畑にいるはずのハタネズミが確認できなかったのは意外でした。鎌倉では田畑の環境が少なくなっていることを考えさせられました。

●家のネズミ、里山のネズミ、森のネズミ 物置などでいたずらをする、クマネズミ、ハツカネズミ、側溝や川で見かけるトブネズミなど家周辺のネズミに対し、谷戸では、オギ原に住むカヤネズミ、畑にいるかもしれないハタネズミが里山のネズミといえます。また雑木林にはアカネズミが生息しており、樹上に棲むヒメネズミがいる可能性もあります。

●森のネズミ 赤ネズミ 名前のように赤茶色をしたネズミです。コナラなどの根元に穴を掘って巣を作り、地上を歩きまわってドングリなどを集めて食べるようです。谷戸では、動物撮影用の自動カメラに、アカネズミが写っていたこともありました。

●ネズミの役割 ネズミはカエルと同じように、ほかの生きものを支える重要な役割を担っています。フクロウやノスリ（タカ的一种）はタイワンリス（外来種）を食べていますが、本来の餌はネズミです。かつて鎌倉にはキツネが多く生息していましたが、昭和30年代に姿を消したのは里山のネズミの減少が原因の一つなのでしょう。

●冬の湿地で鳴く声は？ 谷戸でネズミを見る機会は少ないのですが、湿地で「ジュッ、ジュッ」とささやくような鳴く声を聞くことがあります。野鳥と違い、足元から聞こえてくるのでネズミと分かります。カヤネズミの声でしょうか？

●里山のネズミを守る 谷戸は、県内では数少なくなったカヤネズミの生息地の一つです。カヤぶき屋根や家畜の飼料として重要だった、オギやススキの草原と共に暮らしてきた生物なのでしょう。アカネズミは、地上を歩き回るので、下草がまばらな落ち葉かきがしやすい雑木林の方が棲みやすいと想像されます。田畑を維持することはもちろん、草や落ち葉など自然から出る物質を上手に利用するための活動、草刈や堆肥作りなどが、すべての里山の生きものと共存することにつながるのでしょう。

体験学習

(富士塚小5・脱穀) 一番気に入ったのは唐みです。風の力を利用して、ほこりと米を分けるのは、すごいと思いました。

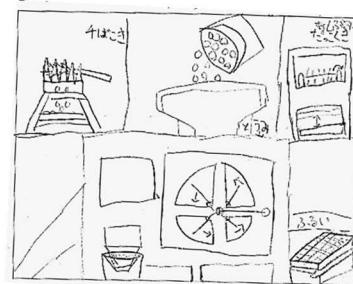
(教育支援教室ひだまり中3) 普段スーパーで並んでいるサツマイモはだいたい同じ大きさですが、今回のサツマイモは異常な大きさだったのでびっくりしました。あの広さの畑で34kgのサツマイモの収穫ができるとは、予想外でした。

(富士塚小5・収穫祭) まちにまった収穫祭をしました。おちばかぎ、わらぎり、わらまきでわらをぎるさぎようが楽しかったです。

(大船中1) 普段気づけない鎌倉の自然の事や、私たちがこれから自然とどう関わっていけばよいかを学ぶことができました。中でも、鎌倉の自然の歴史のお話を聞いて、昔の人たちがよく考えて、工夫してきたことをこれからどう活用するかが大切だと私は思いました。



(富士塚小5・収穫祭)



(深沢小5・脱穀)

(深沢小5・脱穀) お米だけにするために、さまざまな機械を使っていて、色々な手順を使っていたので、びっくりしました。機械、工場だと早くて簡単だけど、自然でやるのが楽しくなりました。

(教育支援教室ひだまり中3・収穫祭) 火おこしは、最初は火力を上げるのに精いっぱい大変でしたが、火力が上がってくると、うちわであおむのが楽しくなりました。

体験学習予定

教育支援教室ひだまり 1/21、2/18

各班のお知らせ

田んぼ班

稲刈り後もお米を食べるために、脱穀、もみ干し、もみすり、精米と作業が続きます。もちろん副産物の、もみ殻、めかもすべて使います。最後に、精米機から白く光るお米が出てくると、幸せな気分になりますね。



 12/1 たくわん大根収穫

雑木林管理班

今シーズンの雑木林管理のテーマは、今年も「明るい森にする」を継続します。当面は、台風の影響を受けた林内の倒木や枯れ木の撤去作業が中心となりますが、並行して管理計画を作る予定です。

畑班

昨年は大根、かぶ、にんじんが大豊作。一方、落花生、さといもは前年から一転不作に。たのくろ豆は2年連続不作。同じように作っても豊作だったり不作だったり。これからも試行錯誤は続きます。



 12/18 たくわん漬け

農芸班

たくわん大根の収穫量が少なく、漬け樽の半分も満たせませんでした。毎年のように味わえることは、当たり前ではないのだと考えさせられました。味噌作りも豆の不作のため中止。2月は麦わら切りです。

自然遊び班

里山探検隊「やきいも」★やきいもがおいしかったです。(小1)★わらないはすごくむずかかったです。1回目はすこいぐちゃぐちゃで、2回目はちょっとぐちゃぐちゃで、3回目はうまくできました。(小3)



 12/4 カナムグラ除去作業

生態系保全班

ヒシガエル産卵場所の手入れをしました。産卵は春ですが、寒くなると生きものへの影響が大きくなるため、この時期に行います。心がけるのはカエルが好む水深にすること。好みが分かると楽しいです。

植物育成班

カナムグラの除去活動です。効果をよくするには根から除去する必要があります。根は数ミリですが、中には親指ほどのものがあります。減ってきていますが、油断すると増えるので続けることが大切です。

1月

5日 (日) 田 藁切り・土ふり
 雑 雑木林の調査・測定 ♣
 8日 (水) 畑 畑の整備
 12日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥切り返し ♣
 雑 竹の伐採 ☆
 春の七草・どんど焼き
 15日 (水) 生 アシ原の野鳥を探そう ♣
 畑 堆肥作り ☆
 19日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ♣
 畑 荒おこし
 雑 間伐材整理 ♣
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 22日 (水) 畑 麦踏み ☆
 26日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ☆
 畑 じゃがいも畑の耕し ♣
 雑 園内整備 ☆
 講座「雑木林の観察」 ☆
 青空自主保育なかよし会保全活動

2月

2日 (日) 田 粃殻くん炭・苗床耕し ♣
 畑 畑の整備
 雑 雑木林の除間伐
 講座 「炭焼きの今昔」 ☆
 5日 (水) 生 カエルの卵の観察 ♣
 鎌倉市職員研修
 9日 (日) 田 粃殻くん炭・畔直し ♣
 畑 さつまいも苗床作り ☆
 雑 木障切り ♣
 自 里山探検隊「収穫祭」
 12日 (水) 畑 さつまいもの苗床作り
 16日 (日) 田 畔直し
 雑 雑木林の除間伐 ☆
 19日 (水) 畑 たのくろ豆予定地の耕し
 農 麦わら切り ♣
 23日 (日) 畑 じゃがいも予定地の畝作り
 雑 雑木林の除間伐 ♣

3月

1日 (日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 講座 「谷戸歩き」 ☆
 4日 (水) 生 オタマジャクシの保護作業 ♣
 8日 (日) 田 畔・水口直し
 畑 じゃがいもの植付け ♣
 雑 雑木林の除間伐
 自 里山探検隊「雑木林の伐採」
 15日 (日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
 自 父と子の里山体験 ▶
 「竹でお椀とお箸作り」
 18日 (水) 畑 亀戸大根の間引き・草取り
 22日 (日) 雑 雑木林の除間伐 ♣
 25日 (水) 畑 さといも予定地の耕し
 29日 (日) 雑 間伐材の活用 ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験 (要予約)
 ▶ 会員以外の方 参加費500円/組
 班活動は、9時半に農家風休憩舎に集合

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班 農：農芸班
 自：自然遊び班 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ：<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号（会報96号）は、2020年3月に発行予定

